

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	地域まちづくり交付金事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業・団体に交付される補助金を一元化して交付する。また、主体的にまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保する新たな財源を、使途について地域に裁量権を付与する。平成26年度には、交付金算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費を一元化した。平成29年度には、課題解決応援加算を創設した。				
	30年度概要	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 課題解決応援加算を継続実施 1年目上限 1,000千円 2年目上限 750千円 3年目上限 500千円			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


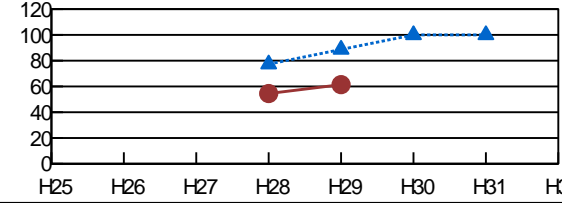
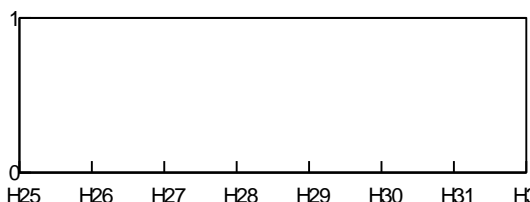
【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の44地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	一元化した交付金をコミュニティ協議会に交付することによって、コミュニティ協議会の裁量で交付金配分し、主体的に地域の課題に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		44	44	44	44

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
コミュニティプランの見直し率	%	目標値		77.3	88.7	100	100
		実績値		54.5	61.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、担当課による出前講座や、アドバイザーの役割を担える専門家紹介など、コミュニティプラン見直しの支援に努めたが、目標達成に至らなかった。 							(達成度) 69.2% 24点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	301,268	298,629	315,261	325,803
（事業費）	[千円]	291,288	288,423	301,604	308,353
（職員人件費）	[千円]	9,980	10,206	13,657	17,450

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域まちづくり交付金は、地域コミュニティ活動における最も重要な財源である。当該交付金により、地域におけるコミュニティ活動の活性化が図られているが、当該交付金をより効果的なものとするため、市並びにコミュニティ協議会による執行状況を確認し、適宜指導・助言する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成 29年度から創設した課題解決応援加算の運用により、地域活動の更なる活性化につなげていく。また、協働推進員制度を充実させ、地域へのサポート体制を整えていく。さらに、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえつつ、地域側の成熟度の向上を見据え、より使いやすい交付金制度を検討していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	自治会活動推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティの中心的役割を担う自治会の活動を推進することで、地域の連帯感を取り戻し、地域みずからのまちづくりを目指す。 自治会の在り方等プロジェクトチームを設置し、自治会の在り方を見直すとともに、新しい施策を検討する。				
30年度概要	連合自治会連絡協議会運営補助 等 自治会の在り方等検討プロジェクトチーム				
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	連合自治会連絡協議会、各地区（校区）連合自治会及び単位自治会
意図（どのような状態にしたいか）	各連合自治会、連合自治会連絡協議会及び単位自治会の活性化

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
自治会加入・結成補助助成数	件		2,150	1,834		

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	自治会加入率	%	目標値		62.4	62.4	62.4	62.4
			実績値		60.2	59		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 自治会加入促進策に取り組んだが、加入率の減少に歯止めがきかなかった。 (目標達成度)							(達成度) 94.6% 33点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,525	14,612	17,279	14,007
（事業費）	[円]	12,222	12,257	13,485	5,661
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	3,794	8,346

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

自治会活動に関するアンケート調査を実施し、その結果により、今後自治会の充実が必要なものとしてプロジェクトチームを設置し、自治会の再生及び活性化について検討を行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域での防犯・防災対策や高齢者や子どもの見守り活動など、自治会の必要性を周知するなど、自治会加入を啓発するとともに、地域と協働で新たに自治会のあり方等検討プロジェクトチームを設置し、今後の自治会の再生及び活性化に向けた検討を行い、新たな施策を実施する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	コミュニティ推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市コミュニティ協議会連合会への運営補助金の交付、地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業の実施、コミュニティ活動備品の整備などを行い、地域コミュニティの自立と活性化を図るもの。		
30年度概要	高松市コミュニティ協議会連合会の活動支援 コミュニティ協議会連合会10周年記念行事 人材養成事業等の開催及び見直し		
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型 ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市コミュニティ協議会連合会、各地域コミュニティ協議会、地域コミュニティ関係者
意図（どのような状態にしたいか）	地域コミュニティ協議会及びその連合体である高松市コミュニティ協議会連合会の組織を強化し、地域コミュニティの自立と活性を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
講演会等の開催回数	回		1	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	講演会・講習会の参加者数	人	目標値		360	360	410	410
			実績値		311	437		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 関連行事と同時開催することで、開催回数、参加者数とも目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 121.4%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	35,896	44,104	41,295	37,118
（事業費）	[千円]	28,987	37,038	34,467	30,290
（職員人件費）	[千円]	6,909	7,066	6,828	6,828

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高松市コミュニティ協議会連合会への補助を通じて、各地域コミュニティ協議会に対する外部監査の導入や連合会体制の強化を図った。各地域を対象とした人材養成事業を実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域コミュニティ活動研修の実施や、外部講師からの指導による協働セミナーのあり方を見直す。平成30年度は著名な講師の登用機会にも恵まれていることから、より効果性の高い事業への見直しを行う。			